

READING

リーディング

This is the reading section of the test. There are two parts to this section.

Part IV

パート 4

Directions: Questions 51-80 are incomplete sentences. There are four words or phrases, marked (A), (B), (C), and (D), under each sentence. Choose the one word or phrase that best completes the sentence. Then mark your answer on your answer sheet.

Example

Please turn off your computer at the ----- of the day.

- (A) ends
(B) ending
(C) end
(D) ended

Sample Answer

(A) (B) ● (D)

The sentence should read, "Please turn off your computer at the end of the day." Therefore, you should choose answer (C).

Now begin work on the questions.

指示 問題51-80は不完全な文です。(A) (B) (C) (D)と記された4つの語句が、各文の下にあります。最も適切に文を完成させる語句をひとつ選んでください。そして、解答用紙に解答してください。

例

Please turn off your computer at the ----- of the day.

- (A) ends
(B) ending
(C) end
(D) ended

解答例

(A) (B) ● (D)

問題文はPlease turn off your computer at the end of the day. (作業時にはコンピューターの電源を切ってください) となるべきです。したがって、選択肢(C)を選ばなくてはなりません。

では、問題に取り掛かってください。

問題

正答・設問の訳・解答のポイント

51.

Winter hats ----- on sale last week.

- (A) were
(B) was
(C) are
(D) is

正答 (A)

設問の訳 先週、冬物の帽子が特売になっていた。

ポイント 主語がwinter hatsと複数形になっていること、文末にlast week (先週) とあることから、複数名詞を受けて過去時制で使われるwereを入れると正しい文になる。

52.

Ms. Ota left ----- glasses at home.

- (A) she
(B) her
(C) hers
(D) herself

正答 (B)

設問の訳 オオタさんは眼鏡を自宅に置いてきた。

ポイント 動詞の目的語はglassesであり、この語を修飾する働きを持つのは、sheの所有格herだけ。(A)のsheは主格、(C)のhersは「彼女のもの」の意味の独立所有格、(D)のherselfは「彼女自身」の意味の再帰代名詞である。

53.

Please ----- me if you have any questions.

- (A) calling
(B) call
(C) will call
(D) to call

正答 (B)

設問の訳 質問があるときは、いつでもわたしに電話してください。

ポイント この文はpleaseで始まり、主語が見当たらないことから、命令文だと判断できる。したがって、空所には動詞の原形である(B)のcall (←に電話する) が入る。please call meは「お電話下さい」の意味。

54.

The café serves mostly ----- drinks.

- (A) tired
(B) happy
(C) hot
(D) thirsty

正答 (C)

設問の訳 あのカフェ店は、おもに温かい飲み物を出す。

ポイント ここでのdrinksは「飲み物」の意味の名詞である。4つの選択肢の中でこのdrinkを修飾して文意が通る形容詞は(C)のhotだけ。hot drinkで「温かい飲み物」の意味になる。(A)のtired(疲れた)、(B)のhappy(幸せな)、(D)のthirsty(のどが乾いた)では意味が通らない。

55.

Cindy and Beth share an ----- in sports.

- (A) interesting
(B) interestingly
(C) interested
(D) interest

正答 (D)

設問の訳 シンディとベスは、2人ともスポーツに興味がある。

ポイント 冠詞anに続く空所にはshareの目的語となる語が入る。目的語となりうるのは名詞であり、選択肢の中では(D)のinterest(興味)がこれに該当する。(A)のinterestingは「面白い」の意味の形容詞、(B)のinterestinglyは「面白く」の意味の副詞、(C)のinterestedは動詞interest(興味を持たせる)の過去(分詞)、または「興味を持った；関係があって」の意味の形容詞。

56.

Mr. James bought a bicycle ----- his son.

- (A) of
(B) by
(C) to
(D) for

正答 (D)

設問の訳 ジェームスは息子のために自転車を買った。

ポイント boughtは動詞buyの過去形。buyが「…(人)に買ってやる」の意味で用いられるときは、人を表す語句の前に前置詞forが使われる。

57.

The yellow house on the corner is over a hundred ----- old.

- (A) years
(B) times
(C) age
(D) length

正答 (A)

設問の訳 角にある黄色い家は、築後百年以上たっている。

ポイント … years oldで「年齢・年数」を表す。(B)のtimesは「回数」、(C)のageは「年齢」、(D)のlengthは「長さ」の意味で、そのいずれもが、空所に入っても意味を成さない。

58.

January was cold, ----- February was unusually warm.

- (A) nor
(B) but
(C) how
(D) unless

正答 (B)

設問の訳 1月は寒かったが、2月は例年になく暖かった。

ポイント コマを挟んで2つの節が並置されていることから空所には接続詞が入る。選択肢にある語はすべて接続詞として機能しうが、前半の節では「1月は寒かった」、後半の節では「2月は暖かった」という、対照的な内容を述べているため、接続の接続詞butが空所に入るものとして適切である。(A)のnorは二者を否定する場合、(C)のhowは程度を表す場合に用いられる。(D)のunlessでは、文意が通らない。

59.

The planning committee needs to make a -----
about the new factory.

- (A) decisive
(B) deciding
(C) decide
(D) decision

正答 (D)

設問の訳 企画委員会は新しい工場についての決定をしなくてはならない。

ポイント 直前がmake a となっているので、空所には名詞が入ると判断できる。(D)のdecision (決定)が入るのが正しい。make a decisionのかたちで「決定を下す」の意味となる。(A)のdecisiveは「決定的な；断固とした」の意味の形容詞、(B)のdecidingはdecide (決定する)の現在分詞、または「決定的な；決め手となる」の意味の形容詞、(C)のdecideは「決定する」という意味の動詞。

60.

If you have a flat tire, you should stop the car at -----.

- (A) then
(B) each
(C) once
(D) next

正答 (C)

設問の訳 もしタイヤがパンクしたら、すぐに車を止めるべきだ。

ポイント flat tireは「パンクしたタイヤ」の意味。空所に(C)のonceを入れるとat onceとなり、「すぐに」の意味となる。(A)のthen (そのとき)、(B)のeach (はのあの)、(D)のnext (次に)では、文意が通らない。

61.

The teacher asked the students to work -----
on their projects for fifteen minutes.

- (A) quiet
(B) quieter
(C) quietest
(D) quietly

正答 (D)

設問の訳 教師は、生徒に15分間静かに研究課題に取り組むように求めた。

ポイント 直前にto workという不定詞があることから、副詞である(D)のquietlyが正答となる。ほかの3つは形容詞(静かな；平穏な)とその比較級と最上級である。

62.

Tony can ----- some money from his brother
for lunch.

- (A) borrow
(B) lend
(C) buy
(D) sell

正答 (A)

設問の訳 トニーは昼食のために金をいくらか兄から借りられる。

ポイント 空所には動詞が入るが、moneyを目的語として意味を成すのは(A)のborrow (←を借りる)か、(B)のlend (←を貸す)だけ。(B)のlendを空所に入れると意味が通らなくなる。

63.

Ashman's Piano Store sells all types of -----
instruments.

- (A) musicals
(B) musically
(C) musical
(D) musician

正答 (C)

設問の訳 アッシュマン・ピアノ店ではあらゆる種類の楽器を売っている。

ポイント 空所にはinstruments (器具；楽器)を修飾する語句が入る。4つの選択肢の中で、名詞instrumentsを修飾する働きを持つのは、(C)のmusical (音楽の)だけ。musical instrumentで「楽器」の意味となる。(A)のmusicalsは名詞musical (ミュージカル)の複数形、(B)のmusicallyは「音楽的に；音楽上」の意味の副詞、(D)のmusicianは「音楽家」の意味の名詞。

64.

There was a ----- view from the top of the mountain.

- (A) beautiful
(B) fast
(C) kind
(D) round

正答 (A)

設問の訳 山の頂上から美しい景観を望むことができた。

ポイント 冠詞aと名詞viewに挟まれた空所にはviewを修飾する形容詞が入る。選択肢はいずれも形容詞であるが、意味の面から最も適切なのは(A)のbeautiful(美しい)である。(B)のfast(速い)、(C)のkind(親切な)、(D)のround(丸い)では意味が通らない。

65.

Kathy Porter is a good friend of -----.

- (A) ours
(B) our
(C) us
(D) we

正答 (A)

設問の訳 キャシー・ポーターはわたしたちのいい友人である。

ポイント a (good) friend of ... という句を完成させるには、ofの目的語として、所有代名詞である(A)のours(わたしたちのもの)を入れる。weの所有格である(B)のour、weの目的格である(C)のus、主格である(D)のweは、いずれも不適切。

66.

The mechanic was still working on my car ----- I arrived at the garage.

- (A) why
(B) what
(C) which
(D) when

正答 (D)

設問の訳 わたしが自動車修理工場に着いたとき、整備工はまだわたしの車の作業をしていた。

ポイント 時を表す接続詞である(D)のwhenを入れると文意が通る。(A)のwhyは理由を表す副詞として用いられることが多いが、ここでは何が理由が述べられているわけではないので不適切。(B)のwhatや(C)のwhichも、ここで用いるのは正しくない。

67.

It is important to carry proper ----- on international trips.

- (A) identity
(B) identifies
(C) identification
(D) identifiable

正答 (C)

設問の訳 海外旅行中は、正式の身分証明書を携行することが大切である。

ポイント itを形式主語とするit is ... to doの構文。it is important to doで「…することは大切である」の意味となる。空所にはcarryの目的語が入ると考えるが、選択肢の中で目的語となりうるのは(A)のidentity(同一性；個性)か、(C)のidentification(身分証明書)である。このうち、空所に入って文意が通るのは(C)のidentificationである。(B)のidentifiesは動詞identify(…を識別する；身元を確認する)の三人称単数形、(D)のidentifiableは「同一であると証明できる」の意味の形容詞。

68.

The directions were ----- written, but I got lost anyway.

- (A) clearly
(B) openly
(C) daily
(D) slightly

正答 (A)

設問の訳 道案内は分かりやすく書かれていたのだが、とにかくわたしは道に迷った。

ポイント directionは通例複数形で「手引き；道案内」の意味となる。この文は受動態であるが、空所に入って意味をなすのは(A)のclearly(平明に；明確に)だけ。(B)のopenly(公然と)、(C)のdaily(毎日；日ごとに)、(D)のslightly(わずかに)は不適切。

69.

Roads are often very ----- after a heavy rain.

- (A) slips
(B) slippery
(C) slipping
(D) slipped

正答 (B)

設問の訳 大雨のあと、道路は滑りやすいことが多い。

ポイント 主語roadsを形容して意味を成すのは(B)のslippery(滑りやすい)だけ。(C)のslippingや(D)のslippedは不適切である。

70.

My computer is ----- slow that I have trouble getting my job done.

- (A) too
(B) so
(C) very
(D) such

正答 (B)

設問の訳 わたしのコンピューターは動きがとても遅く、仕事をする上で問題が生じている。

ポイント この文が「so + 形容詞 + that ~」の構文であると判断できれば、(B)が正答であると分かる。(A)のtoo、(C)のvery、(D)のsuchは、不適切。

71.

Sun Lee was ----- to get a letter from her grandmother.

- (A) delighting
(B) delighted
(C) delights
(D) delight

正答 (B)

設問の訳 サン・リーは祖母から手紙をもらって喜んだ。

ポイント be delighted to ... で「(人が) ... じて喜んでいる」という意味になる。語義・用法の面から、動詞delightの現在分詞と考えられる(A)のdelightingや動詞delightの三人称単数形、あるいは名詞delightの複数形の可能性がある(C)のdelights、および(D)のdelightは空所に入るものとして不適切。

72.

The new television has many good features, but the ----- is very high.

- (A) change
(B) receipt
(C) sale
(D) price

正答 (D)

設問の訳 新型テレビは多くの特長を持っているが、価格が非常に高い。

ポイント 前半の節で新型テレビの長所が挙げられたあと、後半の節が接続の接続詞butで始まっていることから、後半ではそのテレビの短所が述べられていると判断できる。(D)のprice(値段; 価格)を空所に入ると、「価格が高い」という意味になって文意が通る。(A)のchange(変化; 切り替え)、(B)のreceipt(領収書)、(C)のsale(販売)では、意味が通らない。

73.

My hiking tour of New Zealand was ----- vacation I have ever had.

- (A) a better
(B) better
(C) the best
(D) best

正答 (C)

設問の訳 ニューージーランドへのハイキング旅行は、わたしがこれまで経験した休暇の中で最良のものであった。

ポイント 文末の] have ever hadは「これまでのわたしの経験では」という意味である。この節が修飾している語vacationを修飾するものとしては、[定冠詞 + 形容詞の最上級]である(C)のthe bestを用いるのが正しい。(A)のa betterや(B)のbetterは2つのものを比較するときを使う。(D)のbestは定冠詞theが付いていないので不適切。

74.

The art museum stays open ----- 8:00 P.M. on Thursdays.

- (A) up
(B) over
(C) on
(D) until

正答 (D)

設問の訳 その美術館は、本曜日には午後8時まで開いている。
ポイント 動詞stayは継続した状態を表す。したがって、空所には、「…まで(続けて)」という継続した期間の終了時を表す前置詞である(D)のuntilを入れると正しい文になる。(A)のupは前置詞を伴ってup toとすれば「午後8時まで開いている」という意味になり文意が通る。(B)のoverはover 8 hours(8時間以上)のように継続した時間「期間」については用いられるが、(C)のon同様、時刻に対しては使われない。

75.

Mr. Thompson will answer the e-mail after he ----- with his client.

- (A) spoke
(B) speaks
(C) speaking
(D) spoken

正答 (B)

設問の訳 トンプソン氏は顧客と話したあと、電子メールに対する返事を出すつもりだ。

ポイント afterに続く部分は時を表す副詞節となっている。主節で未来時刻が用いられているので、この場合、時を表す副詞節では現在形が用いられなければならない。したがって、動詞speak(話す)の三人称単数現在形である(B)のspeaksが入るのが正しい。

76.

----- at the clinic must fill out a form before they are treated by the doctor.

- (A) Passengers
(B) Shoppers
(C) Patients
(D) Owners

正答 (C)

設問の訳 診療所の患者は、医師の診療を受ける前に、用紙に記入しなくてはならない。

ポイント clinicは「診療所」の意味。診療所で医師による診療を受けるのは患者であるから、空所には(C)のpatients(患者たち)が入ると考えるのが正しい。(A)のpassengers(乗客たち)、(B)のshoppers(買い物客たち)、(D)のowners(所有者たち)は、いずれも診療所で診察を受ける人を表す語としては不適切。

77.

Please have ----- coffee prepared for our guests.

- (A) few
(B) little
(C) some
(D) small

正答 (C)

設問の訳 お客様にコーヒーを用意してください。

ポイント 空所には不可算名詞coffeeを修飾する働きを持つ形容詞を入れる必要がある。これに該当するのは、(B)のlittleと(C)のsomeであるが、そのうち(C)のsomeを用いると文意が通る。(B)のlittleはaを付けずに使うと「ほとんどない」という否定的な意味になり、不適切。

78.

The ladder was leaning ----- the wall.

- (A) against
(B) between
(C) after
(D) about

正答 (A)

設問の訳 はしごが壁に立て掛けられていた。

ポイント leaningはlean(もたれ掛かる)の現在分詞。動詞leanはagainstあるいはonを従えて、「…に寄り掛かる」の意味となる。(B)のbetween(…の間に)、(C)のafter(…の後で)、(D)のabout(…について)では意味を成さない。

79.

The manager has promised to ----- our problem immediately.

- (A) look into
(B) get over
(C) wait on
(D) take after

正答 (A)

設問の訳 管理人はわたしたちの問題をすぐに調べると約束した。

ポイント 4つの選択肢にある動詞句の意味が分かれば、正答できる。(A)のlook intoは「…を調べる」、(B)のget overは「…(問題・病気など)を克服する」、(C)のwait onは「…に仕える」、(D)のtake afterは「…に似ている」の意味。この中で目的語にour problemを取って意味をなすのは、(A)のlook intoだけ。(B)のget overは、通例「自分の問題や病気などを克服する」という意味で用いられ、設問文のように、他者の問題を解決する場合に用いるのは不適切。

80.

Dogs are not ----- in the city park.

- (A) allow
(B) to allow
(C) allowing
(D) allowed

正答 (D)

設問の訳 その市立公園に犬を入れることは許可されていない。

ポイント 文意から、この文は受動態と判断できる。動詞allow (人に…を許可する)の過去分詞である(D)のallowedが入るのが正しい。